



広島県都市部営繕課

課長	課長補佐	係長	係員	設計者
				1級建築士(登録)

工事名 広島県立戸手商業高等学校校舎新築工事に伴う地質調査委託

図面内容・縮尺 位置図

V:S=1:250  
H:S=1:250

設計 昭和

年

図面番号



# 土質柱状図

試錐No. : 2

測点No. : \_\_\_\_\_

仮BMを+10.00mとすると  
標高: +9.83 (m)

調査名 : 広島県立戸手商業高等学校  
校舎新築工事に伴う地質調査委託

試錐口径 :  $\phi 66$  mm

建設コンサルタント

調査位置 : 芦品郡新市町戸手1330

試錐機種 : 油圧式

中国技術工業株式会社

現地状況 : 平地

調査期間 : 自57年9月29日

外業担当 : 高森 幸夫

調査深度 : 15.05 m

至57年10月18日

内業担当 : 吉岡 喜文

標尺	深度	標高	層厚	試料採取法	試料番号	土質記号	地質名	土質名	色調	相對密度	地下水位	記事	標準貫入試験結果								機械掘進結果						
													試験深度 (m)	実測 N値 (回/cm)	補正 N値 (回)	試料採取長 (cm)	補正 N値 一覧図 ●: 推定 N値 ---: 実測 N値	給圧 (kg/cm <sup>2</sup> )	ビット回転数 (r-p-m)	掘進時間 (min)	給水量 (l/min)	排水量 (l/min)	ビット径 (cm)	試料採取長 (cm)			
	0.00	+9.83																									
1	0.40	+9.43	0.40		80		腐植土	黄茶灰	ゆるい	0.70		マサ土による埋設土。 砂は細砂~中砂。 腐植物を混入。	1.00	2	2												
2	1.60	+8.23	1.20	○A			シルト混り砂	暗灰					2.00	10	10												
3				○B				黒灰				中位のゆるい~中位の	3.00	10	10												
4				○C								地下1.60~3.60m間木片を混入。	4.00	17	17												
5				○D								全体的に $\phi 2 \sim 3\%$ 程度の小レキを含む。	5.00	9	9												
6				○E									6.00	13	13												
7				○F				暗灰					7.00	15	15												
8	7.70	+2.13	6.10	○G			腐植土	黒灰				有機物を混入。	8.00	11	11												
9	8.10	+1.73	0.40	○H	V.V		砂	青灰				砂は粗砂。	9.00	12	12												
	8.70	+1.13	0.60	○I			砂質粘土	黒灰				砂は細砂。有機物混入。	10.00	22	22												
10				○J								中位の	11.00	28	28												
11				○K								$\phi 2 \sim 5\%$ 程度の小レキを混入する。	12.00	34	34												
12	12.10	-2.27	2.90	○L			砂	淡青灰					13.00	50	50	20							30	25	20		
13				○M								密な~非常に密な	14.00	50	50												
14				○N								地下14.30mより、 $\phi 30 \sim 80\%$ 程度のレキを混入する。	15.00	50	50												
15	15.05	-5.22	2.95	○O			砂	淡青灰					15.00	12	12	30						3	100	35	30	66	30

(注) 試料採取法の記号

○攪乱した試料    ○標準貫入試験レモンドサンプラーによる試料    ■不攪乱試料

地質名及土質名は現場判定による場合があり、土質試験、岩石鑑定の結果によって変更する場合があります。

●... 現場判定による結果

土質柱状図

試錐No. : 3 測点No. : \_\_\_\_\_  
 調査名 : 広島県立戸手商業高等学校 校舎新築工事に伴う地質調査委託 試錐口径 :  $\phi 66\%$  標高 : +9.93 (m)  
 調査位置 : 芦品郡新市町戸手1330 試錐機種 : 油圧式 建設コンサルタント  
 現地状況 : 平地 調査期間 : 自57年9月29日 外業担当 : 森 翌  
 調査深度 : 15.05 m 至57年10月18日 内業担当 : 吉岡 喜文

標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	試料採取法	試料番号	土質記号	地質名	土質名	色調	相対密度 (調度)	地下水	地質記号	標準貫入試験結果												
												試験深度 (m)	実測 N 値 (回/cm)	補正 N 値 (回)	試料採取長 (cm)	修正 N 値一覽図				給排水	掘進時間	給排水	試料採取長	
													10	20	30	40	50	60	70	kg/cm <sup>2</sup>	min	l/min	l/min	cm
0.00+9.93																								
1.20+8.73	1.20	1.20	○A			粘土混り砂	茶褐		ゆるい	0.70	表面部ガレキ混り。マサ土主体とする埋設土砂。	1.00	2											
			○B				暗灰				粒子粗粒も不均一にてシルト分の混入。	2.00	6											
			○C									3.00	13											
			○D								地下4.00m附近より多量の黒色粘土質の物質を認め、状にはさび。	4.00	30											
			○E								地下6.00m附近、暗灰色のシルト混り細砂。	5.00	8											
			○F									6.00	8											
			○G								7.00m附近粗砂 (灰色) 黒色シルト層には多量のピートを混入。	7.00	15											
8.30+1.63	7.10		○H			砂	暗黒					8.00	14											
											砂層の薄層を互層状態にてピートの混入。	9.00	26											
9.40+0.53	1.10		○I			砂質シルト	暗青灰		堅い			10.00	30											
			○J								粒子粗粒も不均一にて、10.00m附近より30%程度のレキの点在。	11.00	37											
			○K				暗灰		密			12.00	36											
			○L				灰		中		粒子中粒 $\phi 10 \sim 30\%$ のレキの点在。11.80m附近に粘土の薄層をはさむ。	13.00	19											
12.70-2.77	1.70		○M			粘土混り砂	暗青灰		中位		粘土層若干固結し砂質との互層状。	14.00	50	20						30	25		20	
13.40-3.47	0.70		○N						非常に密		$\phi 5 \sim 30\%$ 程度の丸レキ主体。最大 $\phi 60\%$ 程度のレキの点在。	15.00	50	30						100	35	30	66	30
15.05-5.12	1.65		○O			砂	暗青灰																	

(注) 試料採取法の記号

● 掘削機による試料   ○ 標準貫入試験レイモンドサンプラーによる試料   ■ 不攪乱試料

地質名及び土質名は現場判定による場合があります。土質試験、岩石鑑定の結果によって変更する場合があります。

● 現場判定による結果